

公益社団法人日本技術士会 CPD 行事 報告書

開始日時	2026 年 2 月 14 日 (土)	14 時 00 分
終了日時	2026 年 2 月 14 日 (土)	16 時 30 分
名称	第 158 回 CPD 技術者倫理講演会	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部	
開催場所	千葉商工会議所 13 階小会議室 + ZOOM リモート講演	
行事内容	1. 主催者挨拶 志澤達司支部長 2. 講演者紹介 保田耕三技術士 3. 講演 「CSR とそれを支える技術者倫理」 講師：岡部政美氏 技術士（建設部門、総合技術監理部門）	
参加人数	会場出席者 19 名、リモート講演出席者 24 名、 合計 43 名	

講演概要：

企業の社会的責任（CSR）に係わる不祥事では、行政処分などの直接影響に加え、その後の代償の大きさが挙げられる。最近の事例では、企業経営に長期的な影響を及ぼす多大な損失や、経営体制の刷新など企業の存続そのものにも影響しており、中には国が企業に一定の委任を行う制度の問題にも波及しうるものもある。

本講では、CSR とその背景にある技術者倫理を以下のように具体的な考え方と実際の事例を用いて示した。

- （1）具体的な不祥事案および影響の近況
- （2）倫理規程の体系的な位置づけと倫理問題を考える手法
- （3）CSR をとりまく社会背景と考え方

その中で、社会や時代の要請の変化に合わせて以下ポイントを押さえた取り組みを継続することが、結果的に企業活動の発展と社会貢献には重要であると解説いただいた。

①PDCA（問題点の認識、事実関係の整理、倫理問題の特定、具体的行為の選択）を基にした倫理的意決定、②CSR の取り組みがもたらす効果と影響、③柔軟かつ継続的な技術者倫理の伸長

質疑応答では、技術者倫理と企業利益（コスト要求、商習慣など）との摩擦や、倫理感に根差した日本の商習慣の背景などについての質問に対し、講師より考え方の原則と考察を解説いただいた。



講演中



開場風景



質疑応答